

都市再生整備計画 事後評価シート
浦和駅及び武蔵浦和駅周辺地区

平成28年3月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	浦和駅及び武蔵浦和駅周辺地区	面積	約524ha
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	18,977百万円	国費率	0.317

事業名		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(道場三室線(2工区))、地域生活基盤施設(駐車場・駐輪場(第1街区)、防災施設)、高質空間形成施設(歩行者専用道路、広場)、高次都市施設(歩行者デッキ(第1街区)、コミュニティセンター・多目的室)、市街地再開発事業(武蔵浦和駅第1街区(B1・B2・B3-2))					
		提案事業	地域創造支援事業(子育て支援センター、図書館、保健センター、老人福祉センター、下水道、JR東北客貨線乗降場設置)					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駐輪場(第7-1街区))	当該土地を更地の状態で買い戻すことが困難になったため削除			影響なし	
		基幹事業	市街地再開発事業(浦和駅西口南高砂地区)	敷地計画を変更する都市計画変更を進めることになり、年次計画に整合しなくなったため削除			影響なし	
		提案事業	なし	-			-	
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(武蔵浦和駅東口2号線、市道D-132号線(第8-3街区))	拡幅用地が確保され事業化が可能となったため、平成23年に計画変更して追加			影響なし	
			公園(南元宿公園)	貴重な緑化空間の確保及び防災機能の拡充を図るため、平成22年に計画変更して追加			影響なし	
			地域生活基盤施設(駐輪場(高砂))	放置自転車対策として、新たに自転車駐車場の整備が必要となったため追加			影響なし	
			高質空間形成施設(緑地)	武蔵浦和駅第1街区の緑地整備を交付期間中に前倒しとなったため追加			影響なし	
			高次都市施設(歩行者デッキ(第3街区))	武蔵浦和駅第3街区第一種市街地再開発事業に併せた街区間接続による回遊性・歩行者空間確保の強化のため追加			影響なし	
市街地再開発事業(武蔵浦和駅第1街区(B1・B2・B3-1・B3-2))			B3-1ブロックにおける移転等補償費を交付対象範囲に追加			影響なし		
提案事業	市街地再開発事業(武蔵浦和駅第3街区)	武蔵浦和駅第3街区第一種市街地再開発事業の事業着手のため追加			影響なし			
	地域創造支援事業(市道D-634号線、市道D-289号線)	武蔵浦和駅第3街区第一種市街地再開発事業の事業着手のため追加			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
変更	-	-	-		-			

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地区内主要道路の旅行時間	分、秒	15分3秒	H21	14分3秒	H26	13分42秒	△	あり	都市計画道路道場三室線と与野中央通り線の一部が開通したことにより、地区内主要道路の交通環境が改善され、旅行時間は短縮した。しかし、都市計画道路道場三室線(2工区)の整備に当たっては、地権者交渉などに時間を要し、交付期間内に事業が完了しなかった。引き続き、別途道路事業を進め、新大宮バイパスまでの早期開通を目指していくことから、目標達成度は「△」とした。	
指標2	駅乗車人員	人/日	123,906	H20	129,500	H26	133,313	○	あり	【浦和駅周辺地区】JR東北客貨線乗降場が浦和駅に設置され、湘南新宿ラインの停車が可能となり、池袋・新宿方面や県北方面へのアクセス性が向上したことにより、浦和駅の乗車人員が増加した。 【武蔵浦和駅周辺地区】市街地再開発事業により住宅施設が整備され、定住人口が増加したとともに、公共・公益施設や商業施設等の整備に伴い生活利便性が向上し、武蔵浦和駅の乗車人員が増加した。	
指標3	地域の住みやすさ	%	78.9	H21	82.0	H26	87.5	○	あり	市街地再開発事業により、武蔵浦和駅周辺地区では公共・公益施設、商業施設、駐車場・駐輪場等が整備され、都市機能の充実が図られるとともに、歩行者デッキや歩行者専用道路等の整備により、歩行者の安全性・快適性が向上したことから、市民意識調査による南区における地域の住みやすさの割合が高まった。	

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	武蔵浦和駅周辺の定住人口増加率	%	100	H21		109.2			武蔵浦和駅周辺地区の市街地再開発事業により、公共・公益施設、商業施設等が整備され、生活利便性の向上に伴い、武蔵浦和駅を中心とした徒歩10分圏内(800m)における定住人口は増加した。	
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										

4) 定性的な効果発現状況

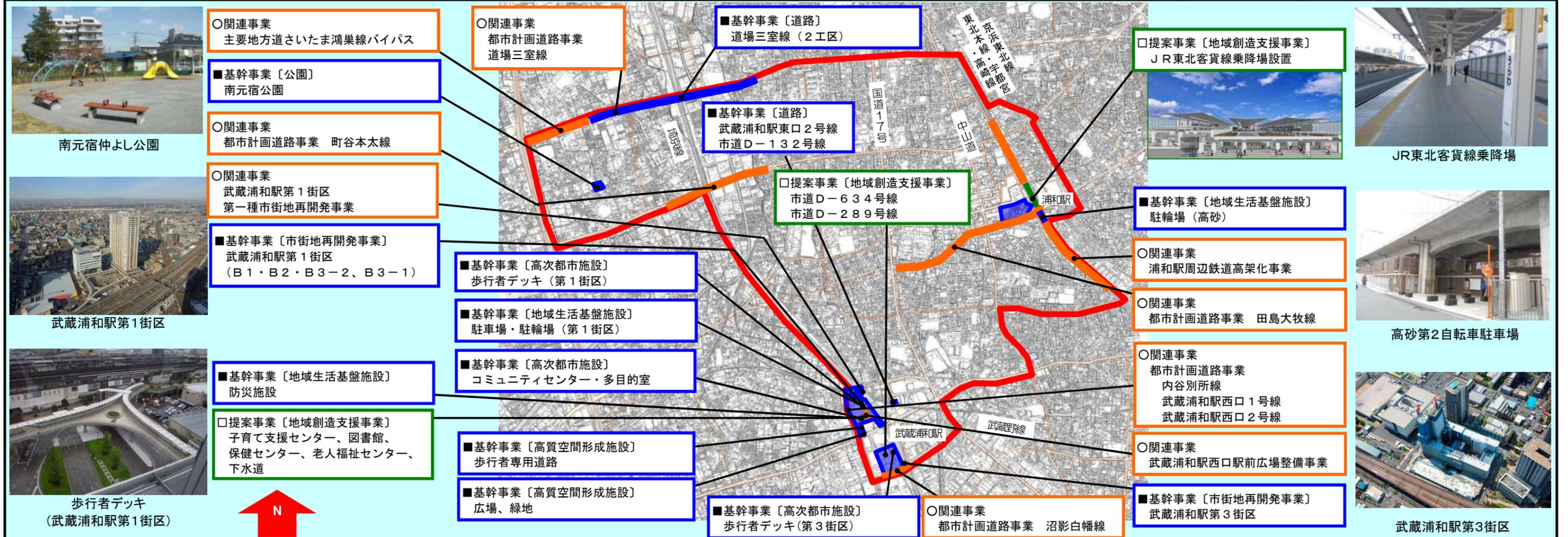
- ・都市再生整備計画事業により、商業業務機能などの都市機能の集積を図ったことで、「さいたま市都市計画マスタープラン」に位置付けている都心(浦和駅周辺地区)及び副都心(武蔵浦和地区)としての拠点性が高まった。
- 【浦和駅周辺地区】
- ・JR東北客貨線乗降場設置及び浦和駅周辺鉄道高架化事業により創出された鉄道高架下の空間を活用し、商業施設、認可保育園等が設置され、駅周辺のにぎわい創出、生活利便性の向上に寄与した。また、JR浦和駅の北口改札も新設され、駅利用者の利便性が向上した。
- ・鉄道高架化事業により駅中央改札口に面する幅員25mの東西連絡通路のほか、高架下に南側1箇所、北側2箇所の交差通路を整備し、東西市街地の一体化を図った。
- 【武蔵浦和駅周辺地区】
- ・市街地再開発事業により整備された「サウスピア」は、南区役所のほか、図書館、子育て支援センター、老人福祉センター、コミュニティセンターを配置したことにより、多様な世代が利用し、今後様々な交流創出の場となることが期待される。
- ・武蔵浦和駅西口駅前広場を整備するとともに、市コミュニティバスや羽田空港行きのバス乗降場を見直し、バス利用者の円滑な乗降が可能となった。

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	住民参加プロセス	地域関係者や施設利用者から意見を聴取	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった

様式2-2 地区の概要

浦和駅及び武蔵浦和駅周辺地区(埼玉県さいたま市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 近接した都心と副都心における機能の分担及び補完による連携強化を図るとともに、さいたま市南部の中心拠点として、にぎわいの創出と生活利便及び快適性の向上を図る。 目標1: 将来的な一層の発展を見据えた都市基盤の充実・強化 目標2: 地区特性に応じた公共・公益施設の整備による生活利便の向上 目標3: 回遊性の向上による地域の賑わい創出と活性化	地区内主要道路の旅行時間	単位: 分、秒	15分3秒	H21	14分3秒	H26	13分42秒	H27
	駅乗車人員	単位: 人/日	123,906	H20	129,500	H26	133,313	H26
	地域の住みやすさ	単位: %	78.9	H21	82.0	H26	87.5	H27



まちの課題の変化

- ・自転車駐車場の整備により、浦和駅及び武蔵浦和駅周辺の放置自転車が減少し、駅前広場等において良好な都市環境を確保した。
- ・都市計画道路道場三室線(2工区)などの東西の骨格道路を整備し、都心(浦和駅周辺地区)と副都心(武蔵浦和地区)を結び、有機的な連携を図る必要がある。
- 【浦和駅周辺地区】
- ・JR東北客貨線乗降場設置により、池袋・新宿方面や県北方面とのアクセス性が向上し、市全体の都市機能や都市活動の多様化を図るとともに、県都の玄関口としての機能が向上した。
- ・市街地再開発事業等により、高次都市機能のより一層の集積を図る必要がある。
- ・浦和駅周辺鉄道高架化事業により創出された高架下の空間を東西連絡通路等として整備し、東西市街地の一体化を図ったが、東西連絡通路と西口中ノ島バスターミナルの連絡性を向上させ、さらに交通結節機能の向上を図る必要がある。
- 【武蔵浦和駅周辺地区】
- ・市街地再開発事業により、公共・公益施設、商業施設、駐車場・駐輪場等が整備され、都市機能が充実した。
- ・歩行者デッキや歩行者専用道路等の整備により、歩行者の安全性・快適性が向上した。また、武蔵浦和駅西口駅前広場や駐輪場の整備により、駅利用者の利便性が向上した。
- ・市街地再開発事業の推進及び計画的なまちづくりを進め、さらなる複合的な機能の充実を図る必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・都市計画道路道場三室線(2工区)や田島大牧線等の道路事業を推進し、活力ある都市活動を支える東西軸の骨格道路網を形成する。
- 【浦和駅周辺地区】
- ・市街地再開発事業等を推進し、歩行者の回遊性を高めるとともに新しい人の流れをつくり、県都の顔としてふさわしいまちづくりを進める。
- ・浦和駅中央改札口に面する東西連絡通路と西口中ノ島バスターミナルの地下部を接続するとともに、バリアフリー化を図り歩行者の利便性を向上させる。
- 【武蔵浦和駅周辺地区】
- ・武蔵浦和駅第7-1街区と第8-2街区については、地元との調整を行い、計画的にまちづくりを進める。
- ・「サウスピア」の多様な機能を生かしながら、市民のコミュニティ活動の拠点となる武蔵浦和コミュニティセンターの効果的な管理運営を図るとともに、「武蔵浦和コミュニティセンターまつり」等のイベント実施を通じて、新たに定住する住民との交流等を促進させ、地域コミュニティの醸成を図る。